

平成 24 年度 第 9 回三重県行財政改革推進本部 概要

- 1 開催日時：平成 24 年 11 月 19 日（月）9:00～9:20
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題 1：政策を推進するための新たな仕組みの構築について

【森行財政改革推進課長】（資料 1 に基づき説明）

当資料は明日（11/20）の全員協議会で説明する予定のものである。

10 月 29 日の本部員会議で説明した中間案からの主な変更点としては、検討中としていた事務事業の見直しへの外部の視点の導入の記載、現行と新たな仕組みとの比較イメージ図及び年間運用スケジュール（案）の追加などである。

【石垣副知事】

現行の主な課題として記載されていることについては、長年（行政運営の仕組みの）先進県として取組んできたが、齟齬が出てきたということから見直しをしようということだと思う。相当難しいシステムをオールインワンシステムに変えていこうという流れの中で、職員が負担感を持たないよう、新しく前に動き出すのだという思いで、トップの各部長が取組んでほしい。

【植田副知事】

石垣副知事からも指摘があった負担感ということでは、オールインワンシステムについて、従来のものをできるだけ使えるように作成してもらいたい。

【加藤観光・国際局長】

外部有識者の意見を聴く部分のイメージについて、進捗していない事務事業が中心となるのか。また、現状も外部の意見を聴く機会や審議会などもあるが、それらとの兼ね合いはどのようなものか。

【森行財政改革推進課長】

目標を達成できていない施策を構成する事業を対象に、役に立っているのか、こう変更すればよいのでは等、事務事業ベースで外部の視点からご意見をいただきたいと考えている。

【加藤観光・国際局長】

事業仕分けのように公開で行うのか。

【森行財政改革推進課長】

基本的に公開を想定している。事業仕分けのような事業を廃止していくものではないが、構成上この事業は不要との意見もいただけるものと考えている。

【加藤観光・国際局長】

事業の選定は総務部で行うのか。

【森行財政改革推進課長】

総務部を中心に基準を定めて選定していくこととなる。

【鈴木知事】

三重県が取組んできた評価システムや行政経営体系の根本理念から大きく変わるものではないが、改善していくということと、論点とか課題とかは行政分野においてはある程度分かっている、それをやるかやらないか、ちゃんとやるかどうかである。ちゃんとやるようにするための仕組みだと思っているので、仕組みの変え方としてドラスティックなものではないが、運用が極めて大事だと思うのでよろしくをお願いしたい。